

JSRグループのマテリアリティ(重要課題)

JSRグループは、「企業理念「Materials Innovation マテリアルを通じて価値を創造し、人間社会(人・社会・環境)に貢献します。」に基づき、企業活動を通じた価値創造により、持続可能な地球環境や社会の実現に貢献することを目指し、マテリアリティ(重要課題)を特定しています。

現在のマテリアリティは、2021年度に設定され、2022年度から2024年度までの期間を対象としています。2024年度はこのマテリアリティの最終年度にあたり、各KPIの達成状況を確認し、次期戦略の基盤となる成果を得ました。

事業活動におけるマテリアリティとして、スマート社会のデジタル化を支える材料と消費電力

抑制に貢献するサステナブル製品の販売を2020年度比で3倍にする目標を掲げ、2024年度には3.5倍を達成しました。また、販売比率は2020年度比で2倍を目指し、2.3倍を達成しました。

経営基盤におけるマテリアリティとして、環境保全および負荷低減に向け、2030年度までに温室効果ガス排出量を2020年度比で30%削減することを目標に掲げ、2024年度時点で18%の削減を達成しました。さらに、持続可能な成長と社会的責任を果たすために、2030年度までに2023年度比で42%削減するSBT目標を設定し、2025年7月にSBTi認証を取得しました。

これらの結果に基づく評価や、社会的ニーズの変化、およびステークホルダーの様々な期待を鑑みて、マテリアリティの見直しを進め、2025年度以降の中長期経営計画へ反映していきます。

特定プロセス

事業活動

- 各事業部
ヒアリング調査

事業部ごとにポジティブ・ネガティブインパクトについてヒアリング調査とディスカッションを実施

- 事業部合同
ディスカッション

JSRグループとしてポジティブ・ネガティブインパクトを把握

経営基盤

- 若手社員による
2回のワークショップ

専門部署に偏らない多様性のバランスも配慮した若手社員10名によるJSRの重要活動テーマの優先順位の検討を実施

- 専門部署を交えた
ワークショップ

2回のワークショップの結果を受けて、専門部署を交え主要課題の「環境」と「従業員」に対する深掘りのワークを実施

今後も以下の運用によりマテリアリティの見直し・特定を行っていきます。

- 有識者、従業員とのエンゲージメント、レスポンシブル・ケア活動などを通して、妥当性を見直す必要が生じた場合には対応する
- 新たな中期経営計画方針策定のタイミングで、有識者の方々との意見交換を通して、マテリアリティを特定する過程の透明性や納得性を確保しつつ定期見直しを実施する

マテリアリティ

3つの重要課題の推進

生活の質・幸福への貢献 Digital Solutions

スマート社会のデジタルを支える材料
消費電力の抑制

健康長寿社会への貢献 Life Sciences

医薬品の早期開発
開発の成功確率・開発効率向上

地球環境保全への貢献 Plastics

自動車の軋み音改善による快適運転
プラスチック資源循環の実現に向けた製品の提供



グループ全体で推進 5つの重要課題

環境保全・負荷低減

グループ一丸となり2050年GHG排出実質ゼロへ

従業員 DE&I 働き方

多様性を尊重し、従業員エンゲージメントの向上を目指す

安全・健康

安全を最優先に加え、心身の健康を良好に保つ

人権尊重

人権についての理解を深め、正しい行動を

サプライチェーン

健全な調達先から安定的な調達を継続する

